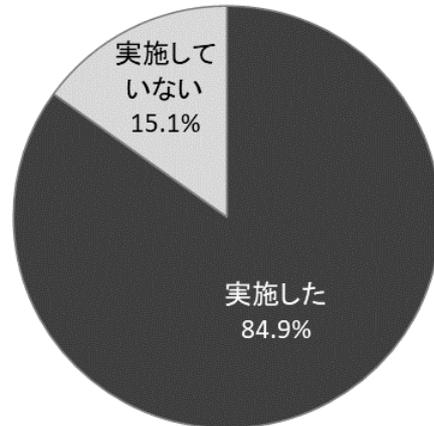


京都府民のスポーツに関する実態調査 調査結果トピックス

P13 問8 「この1年間の運動・スポーツの有無」



N=1,087

○この1年間に運動を『実施した』割合は、84.9%となっている。一方、『実施していない』と回答した割合は、15.1%となっている。

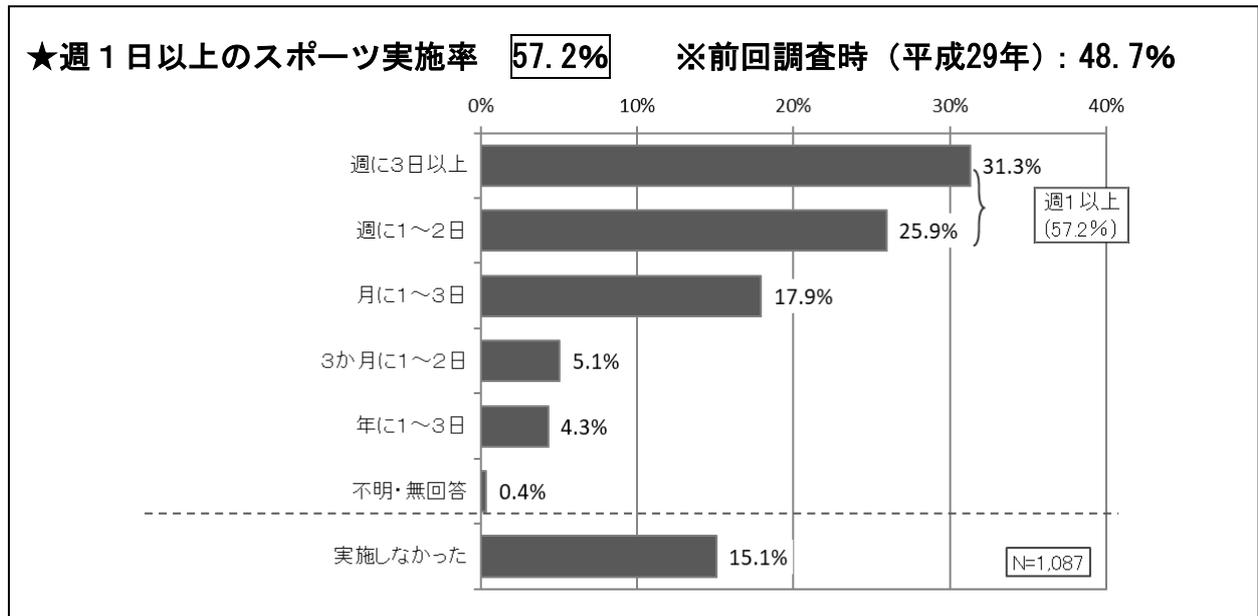
※前回調査時（H29） 『実施した』85.9% 『実施していない』12.2%

問8の実施種目上位3種目

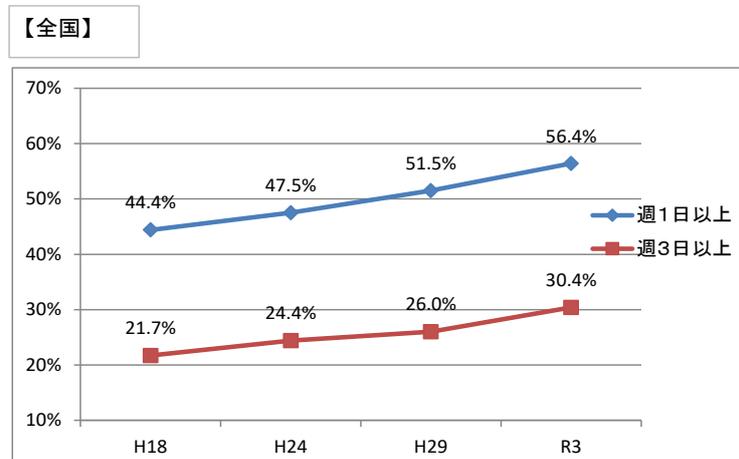
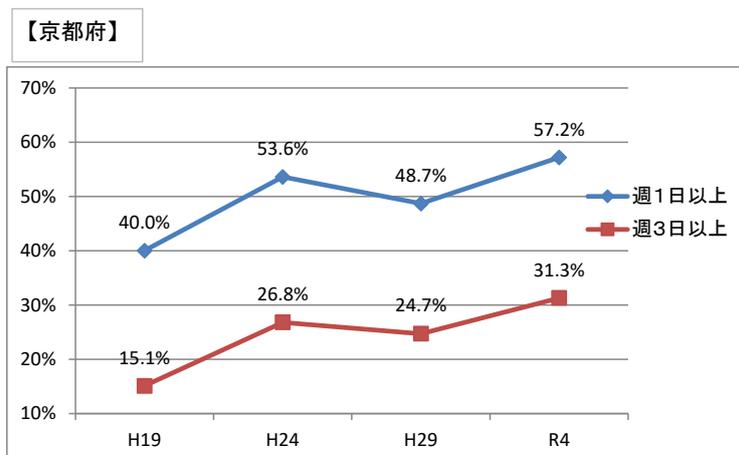
・ 1位 ウォーキング：71.2% ・ 2位 体操：23.0% ・ 3位 階段昇降：21.5%

P16 問9 「運動・スポーツの実施頻度」

○前回調査より大幅に増加。「ウォーキング」の割合の増加や、新たな選択肢である「階段昇降」が上位に入っているなど、「日常生活の中での運動」が実施率向上につながっている。



【実施率の経年比較】



P26 問13「運動・スポーツの実施形態」

○「個人で自由に」が69.7%で最も多く、以下、「家族と」が23.7%、「地域の友人と自由に」が12.1%と続いている。

P29、59 問14、26「情報を得る方法」(するスポーツ、みるスポーツ)

○スポーツを実施する場合の情報源としてSNSでは「Instagram (インスタグラム)」が効果的で、年齢が若くなればなるほど、活用している。

○スポーツを観戦する場合には、「Twitter (ツイッター)」がより効果的で、特に20歳代以下に関しては有効な手段となることが分かる。

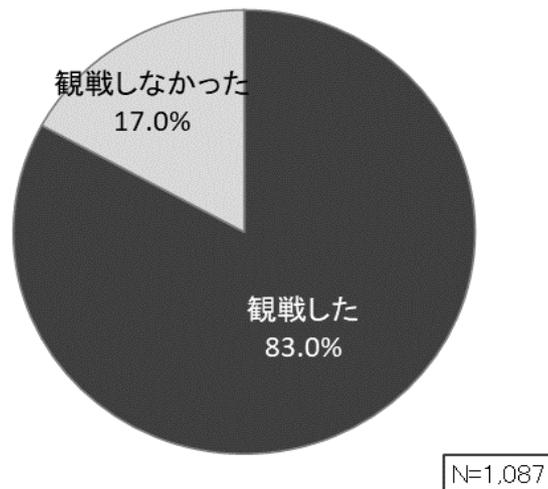
「するスポーツ」

(複数回答)		ホーム ページ や	(Twitter ター)	Instagram (イン スタ グラム)	Facebook (フェイス ブッ ク)	TikTok (ティ ック トック)
全体 (N=923)		27.8%	5.5%	10.2%	2.8%	1.1%
年代別	20歳代以下 (n=98)	21.4%	22.4%	32.7%	1.0%	4.1%
	30歳代 (n=95)	33.7%	8.4%	20.0%	4.2%	2.1%
	40歳代 (n=155)	40.0%	4.5%	12.3%	0.6%	1.9%
	50歳代 (n=201)	38.3%	4.5%	8.5%	6.0%	0.5%
	60歳代 (n=180)	21.7%	1.7%	2.2%	3.3%	0.0%
	70歳代以上 (n=193)	12.4%	1.0%	1.6%	1.0%	0.0%

「みるスポーツ」

(複数回答)		ホーム ページ や	(Twitter ター)	Instagram (イン スタ グラム)	Facebook (フェイス ブッ ク)	TikTok (ティ ック トック)
全体 (N=902)		22.2%	8.9%	7.5%	3.0%	0.2%
年代別	20歳代以下 (n=75)	10.7%	36.0%	22.7%	1.3%	0.0%
	30歳代 (n=84)	36.9%	16.7%	15.5%	6.0%	1.2%
	40歳代 (n=149)	37.6%	14.1%	8.1%	2.7%	0.7%
	50歳代 (n=205)	29.8%	6.3%	8.8%	4.9%	0.0%
	60歳代 (n=180)	18.3%	1.7%	2.8%	1.7%	0.0%
	70歳代以上 (n=208)	5.3%	1.0%	1.4%	1.9%	0.0%

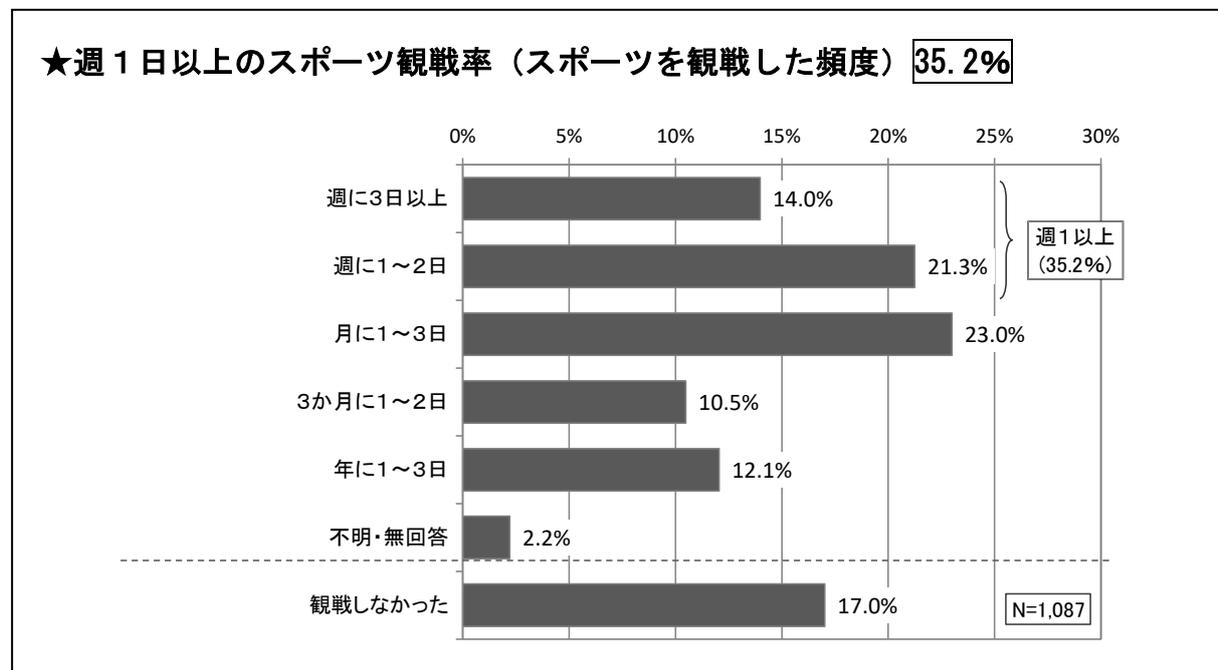
P51 問23 「スポーツの観戦状況」



○この1年間にスポーツを『観戦した』割合は、83.0%となっている。一方、『しなかった』と回答した割合は、17.0%となっている。

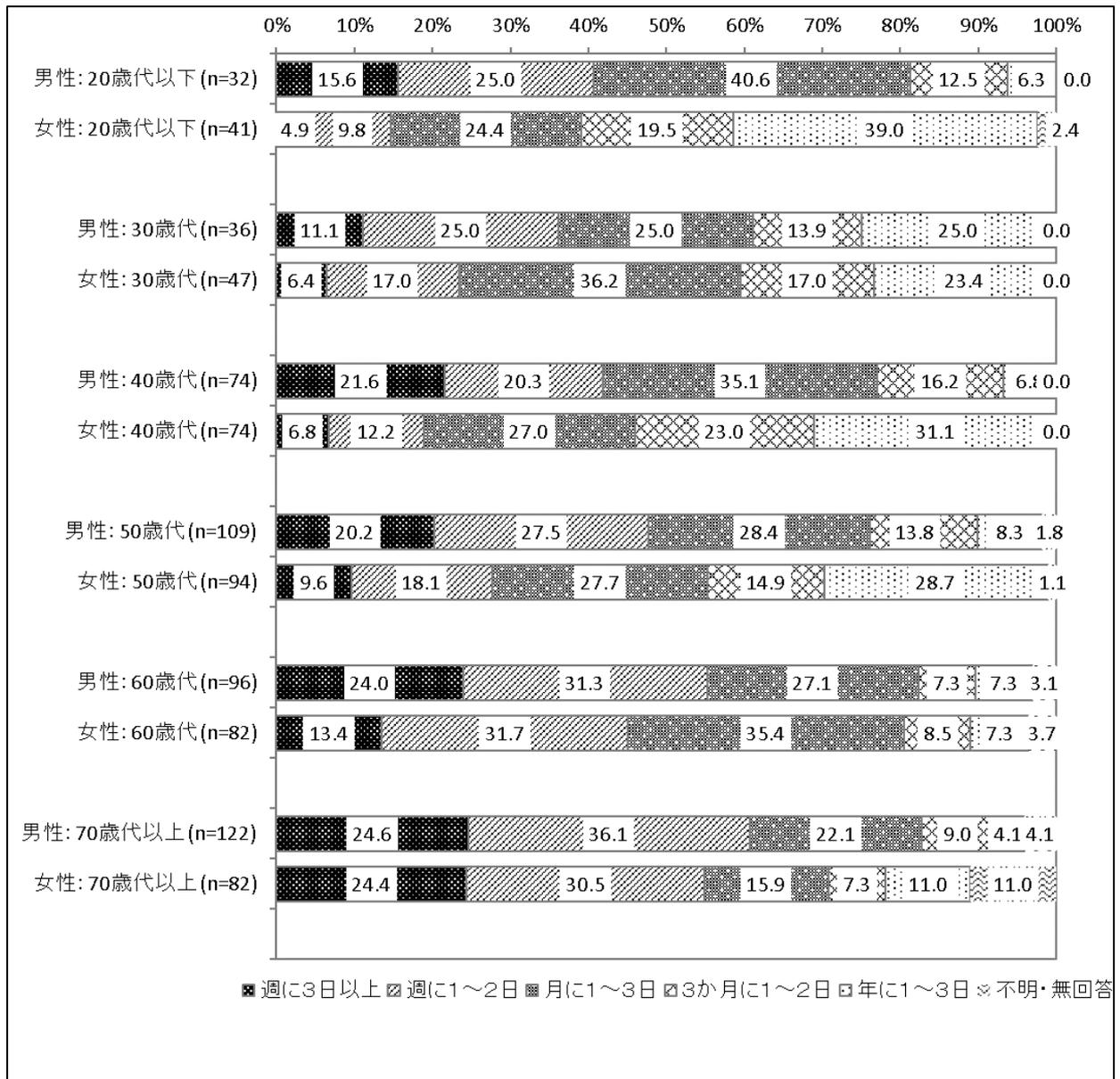
※参考：前回調査時（平成29年）『観戦した』91.6% 『しなかった』7.2%

P55 問25 「観戦した頻度」

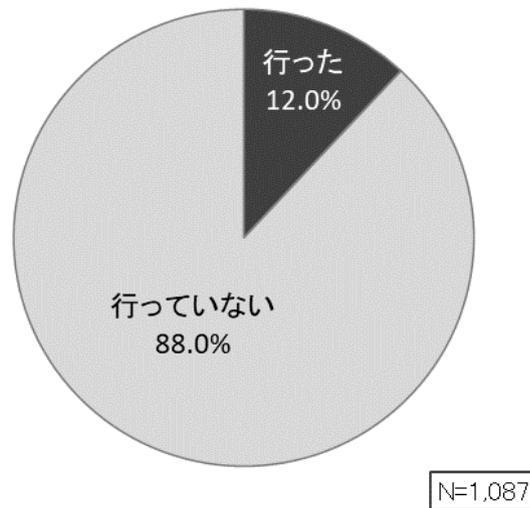


※補足 P57 「問25 観戦した頻度の年代別男女の比較」

○すべての年代において、週1日以上の観戦頻度は、男性の方が女性より高くなっている。



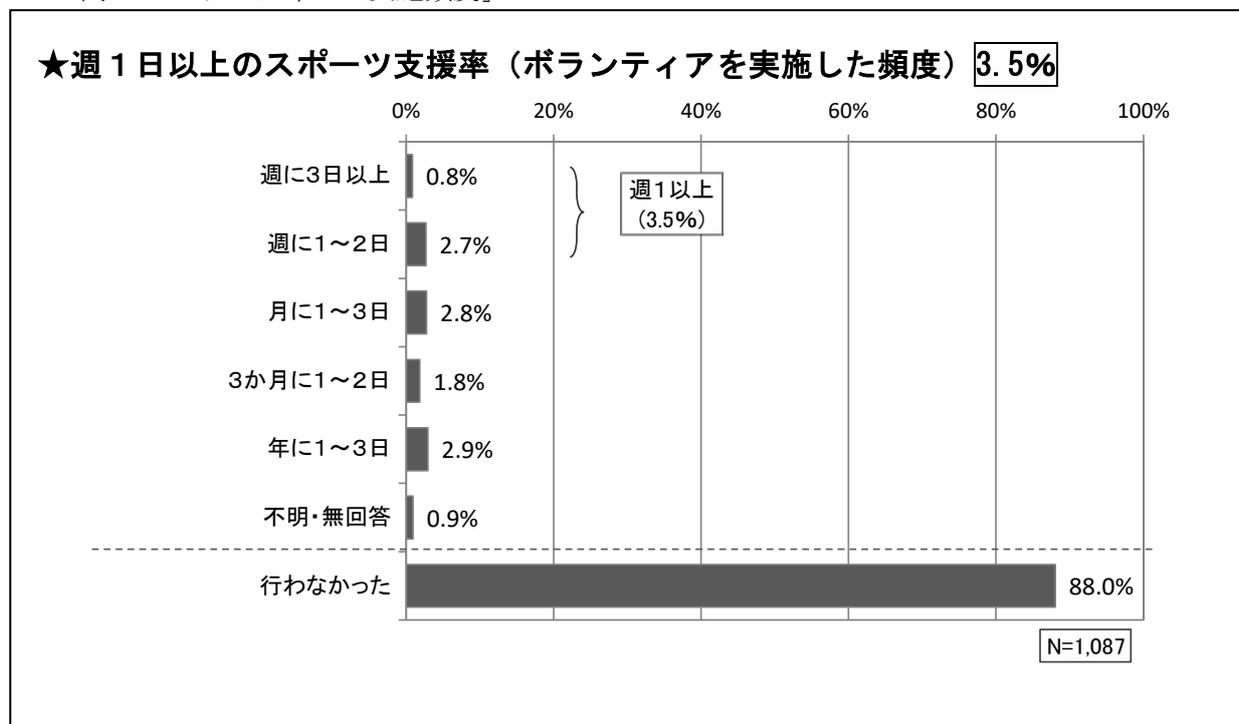
P62 問28 「ボランティアの実施について」



○ボランティアの実施については、『行っていない』が88.0%を占めており、『行った』割合は、12.0%にとどまっている。

※参考：前回調査時（平成 29 年）『行った』7.8% 『行っていない』89.6%

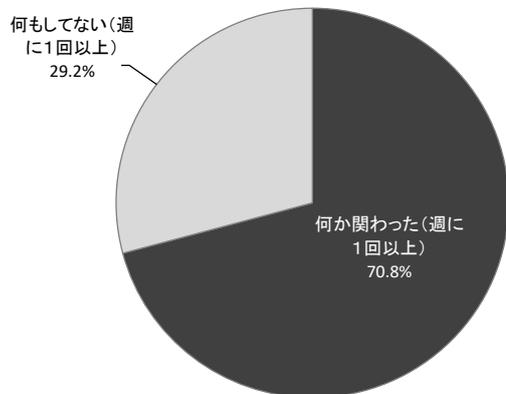
P67 問 30 「ボランティアの実施頻度」



【指針用データ】スポーツ関連率について

- ①定義 スポーツ関連率：「する」「みる」「ささえる」スポーツに、どの分野でも何かに関わった人の割合。
- ②算出方法：スポーツの実施、観戦、ボランティアの参加について、ひとつでも実施していればカウント。
- ③関連率を出す意味：スポーツを「する」だけでなく、「みる」「ささえる」の関わりを数値化。

○スポーツ関連率（週1回以上） **R4 スポーツ関連率 70.8%**



N=1,087

○「何か関わった（週に1日以上）」割合は70.8%となっている。一方、「何もしていない（週に1日以上）」と回答した割合は、29.2%となっている。

○性別では、男性が74.7%と女性と比べて7.1%高くなっている。また、60歳代～70歳以上や、自営業、家事専業、無職などが他と比べると高くなっており、時間の使い方を自分で工夫できる層において、スポーツ関連率が高い傾向があると考えられる。

